

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		NPO等の活動の推進			20年度予算コード	9	整理番号	93	枝番号			
担当部課名	区民生活部地域課	コード	050501		昨年度整理番号	103・104・106						
係名	協働推進担当	連絡先電話番号	3767									
上位施策名	No	51	NPO・ボランティアなどが活動しやすい環境整備									
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	14 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	5	施策番号	2	事業コード	5
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他	区民・NPO・ボランティア・学識経験者及び事業者									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	NPO支援センター、地域活動ネット、ボランティア・地域福祉推進センターへの運営支援とNPO支援基金運営・普及啓発										
	活動指標名(式)	(1) 活動支援助成件数 (2) NPO・ボランティア活動等相談件数										
	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）	NPO等が活動しやすい環境を整え支援することで、新たな公共の担い手となるNPOを育成するとともに、区・NPO等との協働の推進を図り、豊かで活力ある地域社会を築く。										
成果指標名(式)	(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 寄付金額 (2) 区内のNPO法人数											
指標	区分	単位	18年度実績	19年度計画	19年度実績	20年度計画	目標値22年度	目標値に対する19年度の達成率%				
	活動指標(1)	件	17	30	31	30	30	103.3				
	活動指標(2)	件	2,242	2,400	1,919	2,500	2,700	71.1				
	成果指標(1)	円	3,611	3,000	2,294	3,000	3,000	76.5				
成果指標(2)	団体	241	250	279	290	300	93.0					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	48,333	47,674	46,227	47,641	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円	26,425	26,879	25,977	26,151						
	職員数(常勤   非常勤)	人	3.15	3.15	3.15	2.49						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	28,539	28,791	28,791	22,759					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	76,872	76,465	75,018	70,400						
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	4,521,882	2,548,833	2,419,935	2,346,667						
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	76,872	76,465	75,018	70,400						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0							
19年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)			
	すぎなみNPO支援センター運営								24,913			
	すぎなみ地域活動ネット運営支援								4,749			
	NPO団体支援助成事業						31	件	3,599			
	ボランティア活動支援事業補助金								2,875			
その他 (報酬・維持管理・事務費等)								10,091				

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 93 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	103.3	活動指標(2)の 19年度達成率%	80.0	19年度予算 執行率%	97.0
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		すぎなみNPO支援センターが行ったNPO等へのアンケート結果を踏まえて、NPOが「新たな公共」を担うための講座づくりなど、NPOへの支援機能の強化を図った。また、すぎなみ地域大学と連携し、修了者で構成された団体の法人化立上げ支援を行い、地域活動の実践に結びつけた。地域活動ネットは、新規コンテンツの追加など、常に新しい情報を発信するための取り組みを行い、サイト内の情報の充実化を図った。予算は、NPO支援センターの委託内容の適正化を図り、削減をした。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	「杉並区NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する条例」を制定し「すぎなみNPO支援センター」「杉並ボランティア・地域福祉推進センター」の設置や「杉並区NPO支援基金」を創設。またNPO等の活動及び協働の推進に関し必要な審議等を行うために「杉並区NPO等活動推進協議会」を設置した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	NPO関係者からは、協働事業提案制度のモデル実施終了後の提案型協働事業創設が期待されている。すぎなみNPO支援センターについては、専門講座の開催の増加などNPOの中間支援組織としての機能の拡充強化を求める声や、情報の収集・発信等に期待するとの意見が多い。					
	今後の予測	「新たな公共」の担い手として、今後NPO等の活躍領域の拡大が一層期待されると考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:NPOからの提案型協働事業を実施する中で、区とNPO側が共に協働に対する認識を高めることができた。また、NPOが事業の企画力等を向上する努力の必要性を認識するきっかけとなった。NPO支援センターは、地域大学との連携を通して、「新たな公共」を担うNPOの育成という中間支援組織としての今日の役割を強化し、区内NPO活動の推進に貢献した。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:NPO支援センターでは、地域活動に関心のある区民を実践に結び付けていくために、地域大学との連携により、「新たな公共」を担うNPOのための相談業務、NPO立ち上げ支援の充実を図る。またNPO支援基金の充実に向けて、レジ袋有料化を導入したス・パーなどへ働きかけなど民間企業をからの安定的な寄付の確保を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:事業内容が、NPO等への活動支援であることから、今以上の受益者負担は困難である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[事業の統廃合](具体的内容 )	地域大学の任意団体化とあわせて、NPO支援センターとの統合の可能性を検討					
協働等点検	(1) 協働等を実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄					
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) すぎなみNPO支援センターでは、区との協働により、NPOが「新たな公共」を担うための講座づくりを強化することができた。					
	(3) 協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当](具体的内容)	NPO支援基金についても、NPO支援センター組織の一つである普及活動委員会による主体的な寄付等資金調達先の拡大が図られた。					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 多様化した区民ニーズにきめ細かく対応した公共的サービスを、行政のみで提供していくことには困難であることから、今後、NPO等の特性を活かした、「新たな公共」の担い手としてのNPOの育成策の充実が必要である。平成20年度中に「NPO等活動推進協議会」から、今後のNPOとの協働の進め方、NPO活動への支援策に関する提言を受け、平成22年度からの具体策の実施を計画化する。					
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	「新たな公共」を担う志向のある人材、NPOをいかに拡大していくかが何より大きな課題であるが、今後、拡大を図るうえでは、育成策だけでなく、一定程度の収益性の確保、財政的な助成が欠かせない。NPO支援センターによる経営力等NPOの体力強化に対する支援の充実とともに、NPO支援基金や一般公募型の各種助成制度の集約や戦略的な活用を検討を行う。					
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	既存の経費内で、すぎなみNPO支援センターや地域大学の連携を通じて、引き続きより効果的・効率的なNPO支援事業の展開に努力し、「新たな公共」を担うNPOや人材の育成を行うとともに、現在の「新たな公共」活動の財政基盤のひとつであるNPO支援基金の充実に向けて、安定性・継続性が期待できる寄付者の発掘などを積極的に進める。					

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すぎなみ地域大学の運営			20年度予算コード	10	整理番号	94	枝番号				
担当部課名	区民生活部地域課	コード	050501		昨年度 整理番号	105							
係名	すぎなみ地域大学担当	連絡先 電話番号	3312-2381										
上位施策名	No	51	NPO・ボランティアなどが活動しやすい環境整備										
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	18年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	5	政策番号	17	施策番号	67	事業コード	10
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) すぎなみ地域大学運営要綱							
	区内在住、在勤、在学者(地域活動に関心・意欲のある区民)					(2)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	地域活動に必要な知識や技術を学び、区との協働事業の担い手や行政事業の登録などに繋げる講座及びNPO団体等が企画・運営する講座を前期(4月~9月)と後期(10月~2月)に分けて開催する。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)							
	活動指標名(式)	(1) 実施講座数 (2) 受講者数(修了基準を定めていない講座を除く)				講座受講者が様々な分野において、地域活動に参加し、新たな公共サービスの担い手として、積極的に活動すること。							
成果指標名(式)	(1) 地域活動参加率(修了基準を定めていない講座を除く) (2) 新規設立団体数(累計)				(代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%				
			実績		計画		計画	22年度					
	活動指標(1)	本	12	24	24	30	40	60.0					
	活動指標(2)	人	555	720	764	900	1,200	63.7					
	成果指標(1)	%	73	70	71	70	80	88.8					
成果指標(2)	団体	2	5	6	9	15	40.0						
総事業費・コスト把握	事業費	千円	15,058	31,000	23,032	38,542	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0							
	(内)委託費	千円	9,006	18,819	12,611	25,057							
	職員数(常勤   非常勤)	人	2.21   0.00	2.00   0.00	2.29   0.25	2.00   1.00	活動指標(2): 地域活動への参加を目的としているため全講座の受講者数から地域活動に繋がる講座の受講者数へと変更する。 成果指標(1): 年度により講座数や内容に違いがあるため人数から率へと変更する。 成果指標(2): 団体設立を目指す講座があることから新規に指標として加える。						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	20,023	18,280	20,931					18,280		
		非常勤職員分	千円	0	0	693					2,770		
	総事業費 + +	千円	35,081	49,280	44,656	59,592							
	単位あたりコスト( - )÷	円	2,923,417	2,053,333	1,860,667	1,986,400							
	財源	受益者負担分	千円	1,105	2,242	1,281					1,875		
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0					0		
特定財源計 +		千円	1,105	2,242	1,281	1,875							
差引: 一般財源 -		千円	33,976	47,038	43,375	57,717							
受益者負担比率 ÷	%	3.1	4.5	2.9	3.1								
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)								
	講座運営等委託経費				12,611								
	講座運営事務費等経費				7,186								
	講師謝礼等経費				3,235								
	その他	( )			0								

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 94 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	106.1	19年度予算 執行率%	74.3
		19年度の委託講座が当初見込みより少なかったため執行残が生じたが、開講講座数は計画とおり実施し参加者数は計画を上回っている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年度・19年度の受講者に対し、アンケート調査を実施し、受講の動機や活動への課題等について調査した。  20年度の開講講座数を平成19年度の24講座から30講座へと拡充する。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	第37回(平成17年度) 杉並区区民意向調査 社会貢献・社会参加活動 6.3% 第39回(平成19年度) 杉並区区民意向調査 社会貢献・社会参加活動 5.2%					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成18年度及び19年度とも定員を上回る受講申し込みがあり、区民の地域活動への参加意欲が伺える。また、他の自治体や大学等から地域大学の取り組みについての視察や問い合わせが増えている。					
	今後の予測	事業開始以来「6割協働化の一翼を担う」立場で、主として実施計画や部門別計画に対応した講座を実施してきたが、今後は、このような講座とともにスマートすぎなみ計画や民間事業者提案制度にも対応した講座を実施する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 地域貢献活動等を推進する上での環境整備として、第一に区民一人ひとりの活動意欲を如何に引き出すが重要である。地域大学ではその意欲を学習という形で一步実現に近づけることができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 19年度に実施したアンケートをもとに、受講者にとって必要な支援策の構築を事業所管課と連携して取り組んでいく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 修了後の活動の報酬に応じた受講料設定について検討の余地はある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 講座拡充による事業拡大のスケールメリットを活かし、固定的な事務経費などを削減する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 講座カリキュラムの作成及び講座運営業務について、NPO団体等と委託契約を結び講座を実施している。さらに、すぎなみNPO支援センターと「NPO活動実践講座」の審査選定業務の委託や講座終了後の受講生への活動支援についても連携を図っている。今後講座がさらに拡充されると、NPO団体等への講座運営業務が一層必要となる。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に    事業のあり方点検欄を踏まえて記入  多様な協働事業の担い手を育成するためには、「地域人材の育成」部門と「地域人材の活用」部門との更なる連携が不可欠であり、講座の構想段階から受講後の活動段階まで地域大学と事業所管課の連携による支援により、多くの修了者が社会貢献活動へ参加できるよう取り組んでいく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	20年度の30講座から35講座への事業拡充を踏まえて、講師謝礼、講座運営委託費等の必要な予算措置を図るとともに、NPO団体との講座運営等さらに委託化を行い協働化を推進する。また、すぎなみ地域大学のあり方についても検討を進めていく。